

2023年4月の自動車用タイヤ・エンジンオイル・バッテリー販売速報

GfK Japan（東京：中野区）は、全国のカー用品店、タイヤ専門店、ガソリンスタンド、ホームセンター、インターネットの販売実績データを元に、市場規模相当に拡大推計した自動車用タイヤ、エンジンオイル、バッテリーの販売速報を公表した。

■タイヤ

2023年4月の自動車用タイヤ販売は、本数前年比5%減と前年同月を下回り、店頭では同7%減、インターネットでは同2%減であった。こうした中、店頭を地区別にみると、近畿では本数前年比4%増、九州では同7%増と販売を伸ばした。タイヤ全体の税抜き平均価格は10,576円と前年同月から11%上昇し、店頭では6%、インターネットでは20%上昇した。平均価格が上昇したことで、本数前年比はマイナス成長であったものの、金額前年比は5%増と伸長した。店頭では1%減に留まった一方、インターネットでは17%増と大幅な伸長を見せた。

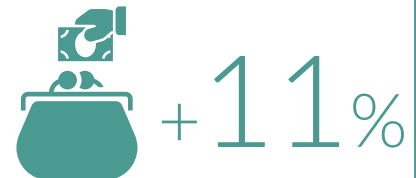
販売本数前年比



販売金額前年比



税抜き平均価格



■エンジンオイル

2023年4月の自動車用エンジンオイル販売は、販売量（リットル換算）ベースで前年比3%減と微減であった。4L缶の販売は数量前年比3%減で、店頭では同3%減、インターネットでは同2%減と前年同月を下回った。4L缶を粘度別にみると、0W-20が横ばい、5W-30が数量前年比6%減であった一方、0W-16は同23%増と大幅に増加した。4L缶の税抜き平均価格は4,138円と前年同月から14%上昇し、店頭では15%、インターネットでは6%上昇した。その結果、4L缶の金額前年比は11%増と二桁成長を見せた。店頭では12%増、インターネットでは4%増であった。

販売数量前年比



-3%

販売金額前年比



+11%

税抜き平均価格



+14%

※販売数量前年比、販売金額前年比、税抜き平均価格はそれぞれ4L缶ベース

■ バッテリー

2023年4月の自動車用バッテリー販売は数量前年比6%増と堅調であった。店頭では同7%減であったものの、インターネットでは同30%増と大幅な伸長を示した。主要なJIS規格では、B20が同8%増、D26が同17%増と全体の伸びをけん引した。バッテリー全体の平均価格は前年同月から7%上昇し13,303円となり、店頭では7%、インターネットでは16%上昇した。結果、金額前年比は14%増と好調に推移した。店頭では同0.1%増と横ばいであったものの、インターネットでは同52%増と著しい伸長を見せた。

販売数量前年比



+6%

販売金額前年比



+14%

税抜き平均価格



+7%

- タイヤはカー用品店、タイヤ専門店（メーカー系列を除く）、ガソリンスタンド、インターネットを集計対象としております。
- エンジンオイル及びバッテリーはカー用品店、ガソリンスタンド、ホームセンター、インターネットを集計対象としております。

GfK JapanのYouTubeチャンネルへご登録を <https://www.youtube.com/@GfKJapan>

独自のデータサイエンスやプラットフォームサービスgfknewronによる価格戦略や市場分析をビデオコンテンツでご理解いただけるサイトです。新鮮な情報をお届けする当チャンネルへのご登録を宜しくお願い致します。

本リリースに関するお問い合わせ先

GfK Japan
Marketing & Communications
平川 己津子
Email: mitsuko.hirakawa@gfk.com